

災害が起こる前にできることから取り組みましょう！

みち  いえ  まち 

- 自宅から町内会の集合場所、避難所への避難経路の事前確認
- 行き止まりの路地（袋路）は複数方向に逃げられるように避難扉の設置を進めましょう！
- 災害時に逃げやすいように自転車やバイク、植木鉢など整理
- 自宅の耐震性の確認
- 自宅を倒れにくく、燃えにくくしましょう！
- 京都らしさを大切にしながら、家を適切に管理・修繕
- 空き家は適切に維持管理するとともに、活用することも考えましょう！
- 日頃から、ご近所で防災に関することを話合しましょう！
- 消火器や消火バケツを多く設置したり、定期的に点検するなど、いざという時に備えた準備をしましょう！
- 建物が建て詰まっているところは、一時避難や延焼防止等に役立つひろばを増やしましょう！

京都市中京区 朱雀第一学区

防災まちづくりマップ

この『防災まちづくりマップ』は、地域住民のみなさんや朱一小学校の子どもたちと一緒に取り組んだ「まちあるき」、「防災まちづくり」に関する意見交換会などをもとに作成したものです。日頃から、身近な町内の情報や災害時の避難の流れなどを確認しておきましょう。

朱雀町北部、アクシルコート京都二条、朱雀町東南部、朱雀材木町、朱雀ハイツ

朱一小学校の子どもたちから地域へのメッセージ

- ◆ 災害に備えてきれいなまちに！！
- ◆ 災害に備えて、準備しよう！ 知識をつけよう！
- ◆ 地震・火災に強いまちに
- ◆ 安心できるようにみんなで防災に取り組もう
- ◆ 守ろう！ 京都のまち
- ◆ みんなで守ろう！ 朱一のまち
- ◆ 防災につよいまちづくり



朱一小学校では、総合的な学習の時間で「防災」について学習しました。災害につよいまちをつくるために必要な取組などを学び、まちあるきで発見したこと、大切だと感じたことなどを壁新聞にまとめました。このマップは子どもたちからのメッセージや意見を取り入れ作成しています。



大きな揺れを感じたら・・・

1 自分の身の安全を確保しましょう

- 火元（ストーブ・ガスレンジなど）の安全確認
- 避難するときのために出口を確保
- ラジオなどで正確な災害情報を収集
- 家族の安否を確認

避難するときには・・・

- 非常持ち出し品のチェック
- 避難路（自宅～集合場所）の確認
- ガスの元栓、電気ブレーカーを閉める
- 家の戸締りと非常持ち出しリュックの持参
- 隣近所（特に要援護者）の安否確認
- 歩きやすい運動靴で避難

発災から30分を目標に！
避難時はがれきや倒壊した家屋、道路の亀裂に注意しましょう。

2 『町内会の集合場所』に集まりましょう

安否確認や被害状況を確認し、集まった人で救助活動を行いましょう。

わたしは _____ に行きます。

『地域の集合場所』に集まりましょう

- ・代表者は被害状況等を共有しましょう。
- ・集まった複数の町内が連携し、町内だけで救助できなかったところの救助活動を行いましょう。

【地域の集合場所】朱一小学校

発災から3時間を目標に！
お年寄りや体の不自由な方、子どもたちに寄り添って！！

3 『朱一小学校』（避難所）に避難しましょう

各町の避難者数や被害状況を本部（自主防災会）に報告してください。学区全体の状況を把握し、今後の救助計画を検討します。

